

アンナ (1951)

ANNA

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンس

製作国 イタリア

色彩 B&W

時間 95分

初公開日 1953/11/29

公開情報 イタリアフィルム=松竹洋画部

【解説】

有名な主題歌“Ei Negro Zum Bon”をS・マンガーノが唄い踊るシーンは、ナンニ・モレッティの「親愛なる日記」(93)に挿入されていたが、モレッティがその振付けをそらんじていて、画面に合わせて踊るのがいかにも映画愛に溢れていた。これは、その後の彼のセリフにある様に“尼さんが突然ダンサーになって踊り出す”奇妙な物語。元ナイトクラブの歌手だった主人公アンナは、今は白衣の尼僧として病院勤めの身。彼女を俗世から断って信仰の世界へ導くことになった、ヤクザの情夫(V・ガスマン)と恋人(L・ヴァローネ)の諍い事を、事故で入院して来たヴァローネと再会する事で回想し、未だ彼に心を残す自分に気付き煩悶する……。その回想があまりに唐突なので、モレッティが語る様な印象を残すが、話しの作り自体はメロドラマ。マンガーノの姿勢が妖艶である。

【クレジット】

監督	アルベルト・ラトゥアーダ	Alberto Lattuada
脚本	ジュゼッペ・ベルト	Giuseppe Berto
	フランコ・ブルサーティ	Franco Brusati
撮影	オテットロ・マルテッリ	Otello Martelli
音楽	ニーノ・ロータ	Nino Rota
出演	シルヴァーナ・マンガーノ	Silvana Mangano
	ヴィットリオ・ガスマン	Vittorio Gassman
	ラフ・ヴァローネ	Raf Vallone
	ギャビー・モルレー	Gaby Morlay